

平成28年度 第2回 和泉総合高校 学校協議会 記録

日時 平成28年11月11日(金) 10:30~12:30

場所 本校 応接室・体育館など

出席者 委員 (敬称略)

一井 正次 竹田 竜彦 松尾 浩子 川端 幹子

学校・事務局

校長 事務部長 教頭 (2名)

1. 文化祭見学 (体育館、中庭など)

2. 挨拶 校長挨拶

学校報告 (校長)

① 生徒状況

この3年間、全体としては出席状況の改善が見られる。しかし、9月になってから遅刻が増えている。例年9月に増えるが、今年の増え方は急である。特に1年生である。これからの指導のポイントになる。

② 授業アンケート

5月～6月に実施した第1回の結果である。昨年に比べ下位が少なくなり中央に寄っている。昨年は何度も授業見学をなど指導したが今年度も続けていく

③ 進路指導

今年は内定率が改善された。10月末で67名が就職希望(学校推薦)で60名が内定している。担任や進路指導部による面接などを夏休みの多くをかけて指導した。また指定校求人も昨年に比べ増加している。1次で内定が出なかった生徒に対して、次の受験など指導している。

大学・短大進学では、指定校推薦以外にAOで合格が出ている。専門学校進学は例年とおりでである。

④ エンパワメントスクール

H30年度入学生よりエンパワメントスクールとなる対象校と発表された。全日制総合学科は変わらないが、教育課程など大きく変わり再出発することになる。まず毎朝に10分学習で気持ちを作り1日がスタートする。そして30分の国数英の授業が習熟度別少人数展開であることが、教育課呈上の大きな特徴である。

さらに答えが一つでない学習・・・エンパワメントタイムが1～3年で行われる。本校は工業、ものづくりの伝統を活かしながら女子の増加に対応した授業を考えていくことになる。

プロジェクトチームをつくり毎週のように会議を行い、意見を集め進めている

3 協議

○エンパワメントスクールになる事によって他にどのような点が変わるのか。

正式には11月の教育委員会会議で決定する。エンパワメントスクールになると、学び直しをしたい生徒を集めるため2月入試になる。また学年の定員も35人×6クラスの2

10人になる。

○総合学科とエンパワメントスクールは違うのか。

伯太高校はH29年度より総合学科になるがエンパワメントスクールではない。現在、大阪南部では西成高校と岬高校がそうであり、本校がその間に位置する。

2月入試や定員減がどのように影響があるのか、中学へ説明も必要だと考える。

また、教室の改修（電子黒板設置や無線LAN化など）があり、それについても教育庁に意見を出している。さらに新しいタイプの教室なども要求している。

今までの進路指導を継承しつつライフプランニングなどを取り入れた指導をしていきたい。

○実際の社会、たとえば会社経営などを考えた授業を考えては。

○H30年は1年次と2～3年次では異なる学校のようになる。大変であるが共にがんばってほしい。先生の配置も変わるのか。

今とは変わる。たとえば工業などは教員配置に応じて学習内容も変わってくるので、整理していかなければならない。

○技術系の授業を残してほしい。

○社会に出て必要となることをしっかり教えてほしい。

○生徒数はさらに変わるのか。

大阪府全体では減少している。しかし堺や泉北はまだ減っていない。ただ和泉市で見ると減少している地域が目立つ。

4 連絡 次回案内 2/4 (土)